

第202期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日



WAKACHIKU

豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第202期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費は持ち直し、設備投資は増加基調となるなど、景気は緩やかな回復傾向が続きました。一方、アジア新興国等の経済の先行きや米国の政策動向による影響等について、留意が必要な状況が続いています。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間設備投資も緩やかに増加するなど、事業環境は総じて堅調に推移しました。

このような事業環境のもと、創業130周年となる2020年を節目に新たなステージを目指し、2018年度を初年度とする中期経営計画（2018年度－2020年度）を策定し取り組んでおります。

本計画の概要は以下のとおりであります。

<中期経営計画（2018年度－2020年度）>

○基本方針

更なる成長へ向け、経営資源の有効活用により「収益力の強化」を図る

○基本戦略

1. 「品質・安全」を核とした、工事施工高の緩やかな増加
・現場生産性を重視（技術者一人当たり完工高、ICT技術の活用）／適正な配員
2. 土木部門の更なる強化（海上土木はマリコントップクラスとしての進化）
・競争力強化に繋がる研究・開発／ICT技術の活用／総合評価対応力の強化
3. 民間部門の拡充
・首都圏へ注力／法人顧客の拡大／民間建築への対応を強化（本支店建築体制の強化）
・取り組み案件の多様化（風力・バイオマス・太陽光・小水力等の再生可能エネルギー／耐震化／維持・修繕／不動産を活用した企画営業）
4. 人員の確保・育成、活力の向上
・技術者の確保（採用方法の多様化）／社員教育の充実（技術の継承・スキルアップ・活力向上）
5. 海外事業の基盤強化
・ODA案件を中心に民間案件へ（東南アジア地域）／国際部を中心に全社一体営業／海外組織力の強化／

海外要員の育成／外国人の新卒技術者の採用

6. 「更なる成長」へ積極的な資金投資

・収益基盤の多様化に関する投資／研究・開発／ICTを活用した業務改善／人材育成／協力会社への支援

7. 「働き方改革」への取り組み

・現場生産性の向上／週休2日へ向けた段階的な取り組み／業務の効率化、ICTを活用した業務改善／協力会社の処遇改善／意識改革の徹底／女性活躍推進

本計画では、「品質・安全」を核に生産性の向上を図るため、各基本戦略を推進し、計画達成に向け全社一丸となって取り組むことにより、企業価値向上を図ってまいります。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、引き続き緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く高水準を継続すると予想され、国際コンテナ戦略港湾政策、国際クルーズ拠点の形成、防災・減災対策、インフラ老朽化対策などの社会資本整備が行われる見込みです。また、民間設備投資も引き続き堅調に推移すると見込まれることから、良好な事業環境は継続すると想定されます。

しかし一方、将来的には建設就労者の減少が見込まれ、生産性の向上、将来を担う若者の確保、人材育成が業界全体の課題となっております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成30年6月



代表取締役社長 五百蔵良平

営業の概況

営業の経過および成果

当社は業績の向上に努めてまいりました結果、受注高は前期比1.5%増の915億円となりました。売上高につきましては、完成工事高が前期比13.6%増の888億円で、不動産売上高7億円と開発事業等売上高1億円を加えて、前期比13.6%増の896億円となりました。

損益につきましては、建設事業では、主に完成工事高の増加により前期を上回る利益となりました。その結果、営業利益は前期比30.3%増

の33億円、経常利益は前期比32.9%増の32億円、当期純利益は前期比17.6%増の26億円となりました。

財産の状況につきましては、主に長期借入金の返済により、有利子負債は前期比1.5%減の41億円、総資産は前期比11.4%増の747億円となりました。また、純資産につきましては、主に当期純利益により前期比8.9%増の257億円、自己資本比率は34.5%となりました。

部門別受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

区	分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高
建設事業	海上土木	30,156	23,368	35,797	17,727
	陸上土木	38,910	40,303	31,729	47,483
	建築	20,428	27,729	21,302	26,855
	計	89,496	91,400	88,830	92,066
不動産事業		—	—	722	—
開発事業等		8	129	125	12
合計		89,504	91,529	89,677	92,078

当期中の主な受注工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省	小名浜港東港地区岸壁（-16m）（耐震）本体工事	福島県
東京都	綾瀬川護岸耐震補強工事（その253）	東京都
東日本高速道路株式会社	東北自動車道蓮田SA（新上り線）休憩施設新築工事	埼玉県
西日本鉄道株式会社	（仮称）香椎照葉5丁目計画商業・賃貸住宅棟新築工事	福岡県
株式会社鯉ヶ沢市民風力発電	七里長浜風力発電所建設工事	青森県

当期中の主な完成工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省	東京国際空港N地区用地造成等工事	東京都
防衛省	目達原（27）整備場新設建築その他工事	佐賀県
宮城県	塩釜漁港魚市場棧橋（上部工外その2）災害復旧工事	宮城県
北九州市	桜町北湊雨水貯留管築造工事	福岡県
積水ハウス株式会社	（仮称）グランドメゾン目黒東山新築工事	東京都

Topics

スリランカ国における災害支援活動

当社は、スリランカ国において昭和58年（1983年）より継続的に政府開発援助（ODA）ならびに現地政府および民間による港湾、道路、橋梁、病院建設等の工事に取り組んでおります。

平成29年5月26日、サイクロン「モラ」はスリランカ国カルタラ州に日雨量553mmの豪雨をもたらしました。同国では、過去に700mmの豪雨が降った記録は残されているものの、この豪雨をもたらした洪水発生により、スリランカ全土にわたり5月最終週だけでも208名の死亡、未だに78名の行方不明者を出す大災害となりました。

このような状況の中、当社は将来のある子供達が受ける教育の機会を中断してはならないとの考えのもと、マータラ州にあるダドリースクールの復旧支援を開始しました。同校では、近くを流れるニルワラ川の氾濫により浸水被害を受けていました。コンピュータ21台や家具など、できる限りの無償提供を実施し、また、一階にあったことが理由で被害にあった図書室や音楽室、コンピュータ室、理科室は二階へ移設しました。復旧に9ヶ月を要して、洪水前より補強されたダドリースクールの引き渡し式典が、平成30年3月2日に当社社長が出席のもと執り行われ、1,500名以上の生徒・父兄達から感謝の言葉をいただきました。

当社は、今後も引き続き、スリランカ国発展への貢献を果たしてまいります。



復旧されたコンピュータ室



引き渡し式に出席した当社社長

「i-Construction大賞」優秀賞を受賞

当社は、国土交通省が平成29年度創設した「i-Construction大賞」の優秀賞を受賞いたしました。

「i-Construction大賞」は、建設現場へICT技術を取り入れる生産性向上策-i-Construction推進の一環で、国土交通省が優れた取り組みを表彰するものです。

表彰の対象は、国土交通省が発注し、平成28年度に完成した工事を行った企業（団体）であり、選考委員会が取り組みの先進性や自立性、波及性などを審査しました。

今回は、若築・あおみ特定建設工事共同企業体の施工による、須崎港湾口地区防波堤築造工事において受賞しました。取り組み内容としては、海中部施工箇所を可視化する「ブロック据付けシステム」を導入し、潜水士との連絡が必要なブロックの据付位置確認を迅速化し、被覆ブロック据付を通常の38日から30日に短縮することで2割以上の生産性向上を達成させました。また、学生に対する説明会も開催し、新技術への興味喚起などに努めました。

当社は、今後もi-Constructionを推進し、生産性向上を図り、働き方改革に積極的に取り組んでまいります。



表彰状



表彰式

Technology

【ICT対応型】潜水士位置監視機能搭載ブロック据付施工管理システム (WIT-B・Fix) Wakachiku Intelligence Technology-Block Fixation System (WIT-B・Fix)

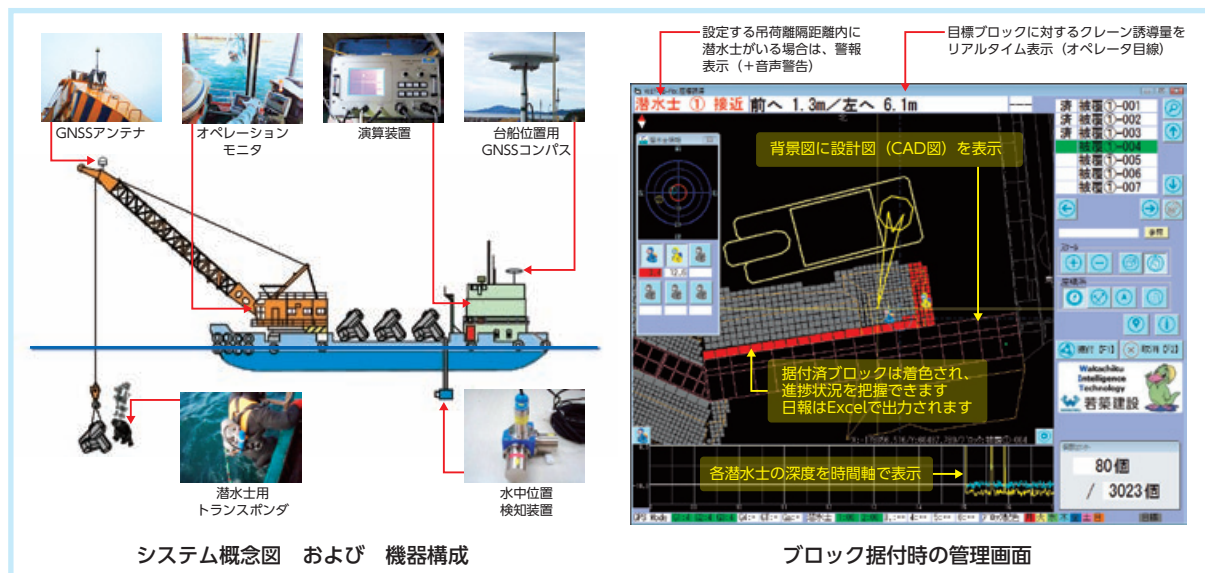
■概要

本システムは、水中トランスポンダとGNSSで構成される簡易に艀装可能な機器を用いて、起重機船・クレーン付台船の位置と潜水士位置およびブロック等の吊荷の位置をリアルタイムモニタリングします。据付目標、据付済みブロックの表示、記録機能により、直感的な工事の進捗管理も可能です。これらの機能を用いて、施工時の安全性、作業効率の向上に役立てることができます。(NETIS : KTK-090004-VE)*

■システムの特徴

1. 任意の目標点に起重機船・クレーン付台船を誘導できます。
2. クレーンの位置をモニタ上にリアルタイムでグラフィック表示します。
3. 据付の完了したブロック位置を、画面上に表示・記録します。
4. 作業日毎の作業日報に、据付位置や据付個数、作業時間、据付段数を記録・出力します。
5. 潜水士の水中平面位置・深度をリアルタイムにモニタできます。
6. 吊荷と潜水士の平面位置を同時にモニタでき、これまでにない潜水士の安全確保が図られます。
7. 上記画面には、全て設計図面 (CAD) を同時に表示することが可能なので、視覚的にわかりやすい画面で作業できます。
8. モニタは、クレーンオペレータ室のほか、複数台設置できます。また、リモート操作機能により、メインPC以外からの操作も可能です。

*NETIS : 「新技術情報提供システム (New Technology Information System)」の略称、公共工事等で活用する新技術をまとめたデータベース。



■適用実績

- H20 八戸港外港地区防波堤 (中央) 基礎工事、H21 福井港海岸 (福井地区) 離岸堤 (潜堤) 築造工事 (その4)、H23 名瀬港 (立神地区) 防波堤 (沖) 東側延伸部築造工事、H24 須崎港湾口地区防波堤築造工事 (その2)、H25 福井港海岸 (福井地区) 離岸堤 (潜堤) 築造工事、H26 鹿島港外港地区南防波堤築造工事 (その2)、H27 下田港防波堤築造工事 他

完成工事紹介

万葉の里（南相馬）風力発電所向け土木・基礎工事

【発注者：株式会社日立パワーソリューションズ】

本工事は、津波被害が大きかった南相馬市鹿島区の真野川河口北側沿岸に、ドイツのエネルギー社製、国内最大級の風車（直径92m）を持つ風力発電機4基を設置する工事のうち、土木・基礎工事を担当しました。

エネルギー社製E92の風車は国内初の現場ということで、特にアンカーボルト200本で構成されたファウンデーションバスケットの施工時には、当社のアンカーリング架台案が採用され、本社設計部の協力のもと、スムーズに施工できました。また、周囲は防災林盛土工事が行われており、排水系統が遮断されていました。台風で雨がヤード周辺に溜まり、2号機基礎打設時には鉄筋・型枠が1m程冠水した時もありました。

地元企業協力のもと、工期内に無事故・無災害で完成することができました。



相筋・鮎田地区河道浚渫工事

【発注者：国土交通省】

熊野川は、奈良・和歌山・三重の3県にまたがり、流域面積は2,360km²にも及ぶ一級河川です。熊野川河口から約5kmまでの区間は、両岸には平地が広がり左岸側は紀宝町、右岸側は新宮市の市街地となっています。また、河口部には砂州が発達しており、平常時に砂州によって河口が閉塞し、洪水時に流出することを繰り返しています。熊野川では災害が起こる前に人工的に川底の堆積した土砂を取り除き、流れる河川の水量を維持するための河道浚渫工事を継続的に行っています。

本工事では、河口から約3kmまでの区間において、河道浚渫工事を行いました。着手時には、河口が砂州によって閉塞されていたので、海側よりグラブ浚渫船の掘削による航路確保後、河道浚渫で使用するバックホウ浚渫船団（3船団）を入域させ河道浚渫を行いました。



(仮称) グランドメゾン目黒東山新築工事

【発注者：積水ハウス株式会社】

東京都目黒区東山には、東京三大貝塚の1つである東山貝塚があります。標高30mほどの丘陵地は、縄文時代から人々に住み継がれてきた閑静な住宅地となっています。南面には緑豊かな東山公園を見晴らし、都心とは思えない開放的な眺めを愉しめるのが特長です。また、最寄り駅まで徒歩5分程と近く、中目黒や代官山も徒歩圏にあり生活利便性はもちろん、評判の高い教育施設も揃って、文化と刺激、癒しが日常を豊かに彩る土地です。

本工事は、2LDK～4LDKの分譲マンション30戸を建設するプロジェクトです。建物正面に地域のシンボルでもある桜の樹木を存置したままの施工で、建物に干渉する枝を剪定するために樹木匠と打合せをしながら施工を進め、無事完成することができました。



(仮称) 大丸駅前ビル新築工事

【発注者：株式会社大丸】

本工事は、JR小倉駅と2階通路で直結するテナントビルを新築するものでした。

建物は鉄骨造8階建て、建築面積454.83㎡です。建物概要は、外壁材として押出成形板（メース）と石材を組み合わせたメースハイブリット工法が採用されています。躯体の鉄骨に、直接石材荷重を伝達する設計により、メース自体に構造的な負担が掛らないため安全で高い耐久性を維持します。3階から8階までのガラスカーテンウォールは、リブガラスおよび小型特殊金物を採用することにより、意匠性が高く、ガラスの透明感を引き出しています。

交通量の多い駅前かつ歓楽街が周囲にある工事であったため、第三者災害防止対策の強化を図り、関係諸官庁との調整を行いながら、工期内で無事完成することができました。



四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁(P49~P53)上部工事

【発注者：国土交通省】

三重県の四日市港霞ヶ浦南ふ頭から伊勢湾岸自動車道（みえ川越IC）を結ぶ、約4.1kmの臨港道路の整備により、生活・産業を支える四日市港の発展、周辺道路（国道23号）への負荷の軽減、災害時のリダンダンシー（代替機能）の確保等の効果が期待されています。

当工事は、耐震性に優れた多径間連続ラーメン構造において、橋脚高さが低いほど懸念される端部剛結橋脚でのコンクリートのクリープ、乾燥収縮、温度変化および弾性短縮による水平変位の影響を低減させるため、国内でも前例が少ない後ラーメン工法を採用しました。

曲率半径が小さい線形での後ラーメン工法の採用は、国内で初めての施工でしたが、綿密な計測管理のもとに最終的に後ラーメン化を無事完了させました。



那覇空港滑走路増設1工区南側埋立工事

【発注者：内閣府】

那覇空港は沖縄の玄関口として、国内外はもとより沖縄県内離島を結ぶ主要拠点です。観光産業や物資の輸送などその利用は年々増加しており、空港の年間発着回数も15万回に達している状況の中、新滑走路整備が急務となっています。

新滑走路の整備は総事業費約2,000億円となっており、平成31年末完成を目指しています。

そのような中、本工事は平成28年12月より平成30年2月までの期間、新滑走路南側の埋立および護岸内のフィルター層造成を、約35万㎡の海砂を使用して行いました。現有空港が隣接しているため航空機の運航を妨げないことや気象・海象条件の厳しい中、材料（海砂）調達に苦心しましたが、無災害で完工しました。



財務諸表 (単体)

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	(H30.3.31)	(H29.3.31)
資産の部		
流動資産	62,364	54,483
固定資産	12,337	12,597
有形固定資産	7,898	8,101
無形固定資産	95	75
投資その他の資産	4,342	4,420
資産合計	74,701	67,081
負債の部		
流動負債	42,831	36,646
固定負債	6,129	6,807
負債合計	48,961	43,453
純資産の部		
株主資本	23,797	21,636
資本金	11,374	11,374
資本剰余金	2,907	2,907
利益剰余金	9,528	7,366
自己株式	△11	△11
評価・換算差額等	1,942	1,991
その他有価証券評価差額金	236	285
土地再評価差額金	1,705	1,706
純資産合計	25,740	23,627
負債純資産合計	74,701	67,081

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	(H29.4.1~H30.3.31)	(H28.4.1~H29.3.31)
売上高	89,677	78,944
売上原価	81,534	71,770
売上総利益	8,143	7,174
販売費及び一般管理費	4,831	4,631
営業利益	3,312	2,542
営業外収益	172	168
営業外費用	264	288
経常利益	3,220	2,423
特別利益	26	166
特別損失	15	106
税引前当期純利益	3,231	2,484
法人税、住民税及び事業税	491	326
法人税等調整額	59	△122
当期純利益	2,679	2,279

株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計						
平成29年4月1日 残高	11,374	2,843	63	2,907	7,366	7,366	△11	21,636	285	1,706	1,991	23,627
当事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△518	△518		△518				△518
当期純利益					2,679	2,679		2,679				2,679
自己株式の取得							△0	△0				△0
自己株式の処分							0	0				0
土地再評価差額金の取崩					0	0		0				0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									△48	△0	△48	△48
当事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	2,162	2,162	△0	2,161	△48	△0	△48	2,112
平成30年3月31日 残高	11,374	2,843	63	2,907	9,528	9,528	△11	23,797	236	1,705	1,942	25,740

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	(H30.3.31)	(H29.3.31)
資産の部		
流動資産	66,322	57,970
固定資産	11,397	11,712
有形固定資産	8,491	8,766
無形固定資産	103	82
投資その他の資産	2,802	2,862
資産合計	77,719	69,683
負債の部		
流動負債	44,498	38,093
固定負債	7,217	8,134
負債合計	51,715	46,228
純資産の部		
株主資本	24,193	21,899
資本金	11,374	11,374
資本剰余金	2,924	2,924
利益剰余金	9,907	7,612
自己株式	△11	△11
その他の包括利益累計額	977	803
その他有価証券評価差額金	236	285
土地再評価差額金	1,705	1,706
退職給付に係る調整累計額	△965	△1,187
非支配株主持分	832	751
純資産合計	26,003	23,454
負債純資産合計	77,719	69,683

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	(H29.4.1~H30.3.31)	(H28.4.1~H29.3.31)
売上高	92,467	82,258
売上原価	83,568	74,310
売上総利益	8,898	7,947
販売費及び一般管理費	5,185	4,969
営業利益	3,713	2,977
営業外収益	115	118
営業外費用	269	291
経常利益	3,559	2,803
特別利益	26	168
特別損失	15	106
税金等調整前当期純利益	3,569	2,865
法人税、住民税及び事業税	613	461
法人税等調整額	61	△121
当期純利益	2,894	2,526
非支配株主に帰属する当期純利益	82	109
親会社株主に帰属する当期純利益	2,812	2,416

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成29年4月1日 残高	11,374	2,924	7,612	△11	21,899	285	1,706	△1,187	803	751	23,454
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△518		△518						△518
親会社株主に帰属する当期純利益			2,812		2,812						2,812
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分				0	0						0
土地再評価差額金の取崩			0		0						0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△48	△0	222	173	81	254
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,295	△0	2,294	△48	△0	222	173	81	2,549
平成30年3月31日 残高	11,374	2,924	9,907	△11	24,193	236	1,705	△965	977	832	26,003

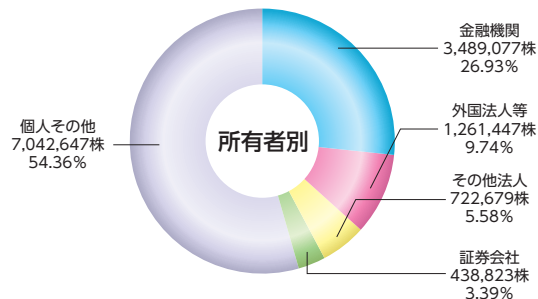
株式の状況 (平成30年 3月31日現在)

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	12,964,993株
株主数	10,232名
大株主	

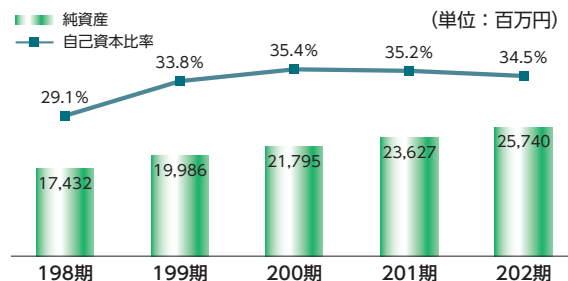
株主名	持株数(株)	持株比率
若築建設協会社持株会	712,758	5.50%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	598,600	4.62
三井住友信託銀行株式会社	527,600	4.07
山内正義	382,900	2.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	344,000	2.66
株式会社三井住友銀行	315,025	2.43
株式会社千葉銀行	292,242	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	230,800	1.78
若築建設従業員持株会	207,525	1.60
公益財団法人石橋奨学会	206,050	1.59

(注) 持株比率は自己株式(10,320株)を控除して計算しております。

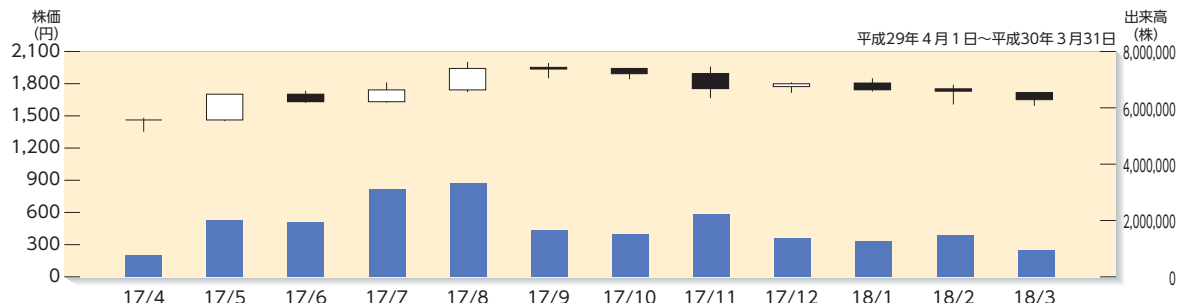
株式の分布状況



純資産・自己資本比率



株価チャート



(注) 株価および出来高は株式併合の影響を踏まえて換算しております。

役員 (平成30年 6月26日現在)

【執行役員】

執行役員社長	五百蔵 良 平
専務執行役員	坂本 潤一
専務執行役員	海隅 田一郎
常務執行役員	鳥井 克彦
常務執行役員	石井 康己
常務執行役員	梶原 康之
常務執行役員	中川 博文
常務執行役員	中村 誠成
常務執行役員	深井 弘幸
執行役員	福岡 徹生
執行役員	寺本 忠彦
執行役員	儀松 満和
執行役員	松野 秀泰
執行役員	平木 靖高
執行役員	田坂 豊光
執行役員	三輪 哲也
執行役員	瀬田 文治
執行役員	松本 敏二
執行役員	峯井 英謙
執行役員	井口 史朗
執行役員	原 久利

【取締役】

代表取締役社長	五百蔵 良 平
代表取締役	坂本 潤一
取締役	海隅 田一郎
取締役	鳥井 克彦
取締役	石井 康己
取締役	中村 誠成
取締役	田中 恵弘
取締役	朝倉 康夫

【監査役】

常勤監査役	佃 敏 郎
常勤監査役	勝見 浩 明
監査役	森本 昌 雄

(注) 取締役のうち田中優次、朝倉康夫の両氏は、社外取締役であります。
監査役のうち勝見浩明、森本昌雄の両氏は、社外監査役であります。



本店・九州支店 および わかちく史料館

会社概要 (平成30年 4月 1日現在)

商号	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.)
創業	明治23年(1890年) 5月23日
資本金	11,374百万円
従業員	707名
事業所	
本店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 761-1331
東京本社	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0271
東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目10番28号 TEL (022) 221-4325
千葉支店	〒260-0027 千葉市中央区新田町4番22号 TEL (043) 242-2245
東京支店	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0811
横浜支店	〒231-0015 横浜市中区尾上町一丁目6番 TEL (045) 662-0814
北陸支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通一丁目2番23号 TEL (025) 241-1242
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11番20号 TEL (052) 201-5321
大阪支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 TEL (06) 6261-6736
中国支店	〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号 TEL (082) 248-1810
四国支店	〒760-0071 高松市藤塚町一丁目2番1号 TEL (087) 833-7347
九州支店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 752-3510
福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東一丁目13番9号 TEL (092) 483-5307
海外事業所	ジャカルタ事務所 (インドネシア共和国) コロンボ事務所 (スリランカ民主社会主義共和国) ハノイ事務所 (ベトナム社会主義共和国) ディリ事務所 (東ティモール民主共和国) マレ事務所 (モルディブ共和国)
わかちく史料館	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 当社本店3階 TEL (093) 752-1707
開館時間	午前10時～午後4時
休館日	毎週月曜日・祝祭日・年末年始
入館料	無料

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 株主名簿管理人事務取扱場所	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (ホームページURL) 公告方法	☎ 0120-782-031 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html 当社のホームページ (http://www.wakachiku.co.jp)に掲載する。ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

【株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株主電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記電話照会先をお願いいたします。



<http://www.wakachiku.co.jp>



WAKACHIKU

豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

〒153-0064

東京都目黒区下目黒二丁目23番18号

TEL 03-3492-0271 FAX 03-3490-1019

